



本学とJICA海外協力隊大学連携派遣との協力について



海外協力隊大学連携派遣 とは？

電通大と協力関係にある海外大学等の研究機関へ学生をJICA海外協力隊員（ボランティア）として派遣、JICAによる技術支援の一環として、隊員は海外大学等の人材と共同研究・技術開発を進める

【JICA海外協力隊の目的】

- ・ 日本国民を海外協力隊員として派遣し、市民の知識・経験を活かして**開発途上国の課題を解決**する
- ・ ボランティア活動を通じた**人材育成**および帰国後に**海外経験を日本国内の課題解決へ寄与**する

【電通大生のメリット】

- ・ 大学推薦により隊員派遣の**技術試験を免除**、**海外の大学等研究機関で共同研究・技術開発**ができる
- ・ 基本的な**現地滞在費**（航空賃、宿泊費、生活費、保険など）は**JICAにより支給**される
- ・ 派遣に伴う**休学期間を最短**にできるように、大学の制度を適応すべく調整中

JICA (Japan International Cooperation Agency)とは？（独立行政法人国際協力機構）

日本政府による開発途上国に対する支援を実施する機関（外務省所管）

JICA海外協力隊（JOCV : Japan Overseas Cooperation Volunteer）

開発途上国のコミュニティで生活しながら、住民と一緒に課題解決に貢献するボランティア活動を実施、JICAが公募・人選を行い対象国へボランティアを派遣



電気通信大学 (UEC) と メキシコ国立工科大学 (IPN)とのJICA連携開始

先端技術を応用した医療福祉機器の社会実装及び関連する技術協力にかかる
JICA海外協力隊連携派遣



横井研究室 (大学院情報理工学研究科・情報理工学域機械知能システム学専攻・Ⅱ類) を通じて学生の派遣を開始

【実施期間】 2025年8月～2028年7月

【派遣人数】 長期 (1年) 計7人、短期 (1～6カ月) 計12人、合計19人を派遣予定

筋電義手の開発に関連する多様な技術分野 (メカトロニクス、電気通信、情報工学、社会実装の促進に向けた社会調査も含む) で学ぶ**学生を派遣**し、IPNの教授・学生と協働して、**社会で役立つ実用技術の開発**を進める。



メキシコ国立工科大学クルアキャンパス



派遣学生の学内公募 (2024年7～10月) へ多数の応募があったのを受けて…

- **新たな連携派遣の開始**を目指す
- **来年2025年度の提案に向けて**、国と分野、参加研究室を**開拓・準備中**



タイ KMUTT大学キャンパス



- UEC ASEANセミナー (2024年10月) で本活動をPR
- KMUTT (キングモンクット工科大学トンブリ校) をはじめ、タイの複数大学から参加希望の表明あり
- **タイ国を対象に新たな海外協力隊連携派遣の提案を検討中**
(2025年度応募、**2026年度派遣開始**を目指す)

いつか世界を変える力になる

JICA
海外協力隊

JICA海外協力隊×電気通信大学

電気通信大学出身者

- **実績** 古くは1970年から
2000年以降は毎年派遣実績あり（コロナ期間を除く）
- **職種** 電気・電子機器・設備／電気通信／電気工学／機械工学／
コンピュータ技術／PCインストラクター／理数科教師 等
- **人数** **計 77名**（内、短大部9名、大学院20名含む）



1. JICA海外協力隊とは？

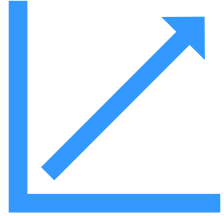


JICA海外協力隊とは？

ODA（政府開発援助）予算により、**JICA**（独立行政法人国際協力機構）が実施する**国民参加型のボランティア事業**

開発途上国からの要請（ニーズ）に基づいて、それに見合った**技術・知識・経験**を持ち、「**開発途上国の人々のために生かしたい**」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します

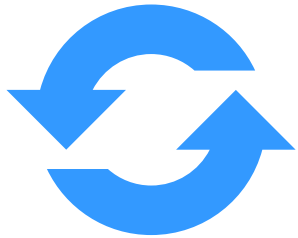
JICA海外協力隊事業の目的



開発途上国の**経済・社会の発展・復興への寄与**



異文化社会における**相互理解の深化と共生**



ボランティア経験の**社会還元**

JICA海外協力隊の活動

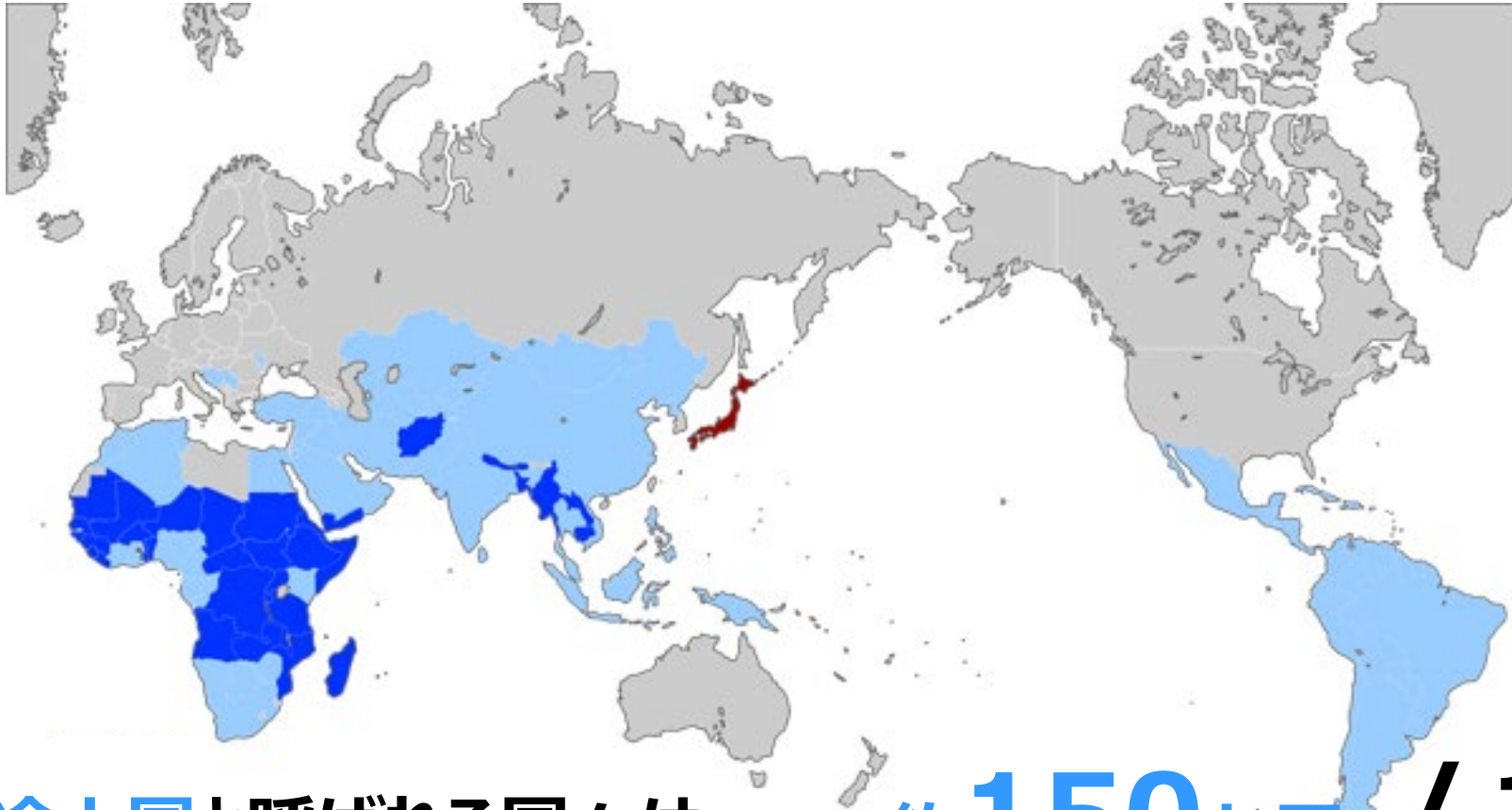
- 対象 自らの意思で参加を希望する**20～69歳の日本国籍を持つ方**
- 派遣先 **開発途上国**や**中南米の日系社会**
- 期間 **2年間**（1年未満の短期派遣もあります）
- 内容 **経済・社会の発展、復興**に向けた協力を現地の**住民と一体**となっていて



隊員の募集・選考・訓練・派遣 ⇒ **JICAが実施**

どこで活動しているの？

開発途上国



開発途上国と呼ばれる国々は

約**150**か国 / **196**か国

開発途上国に住んでいる人たちは

推定**50**億人 / 約**80**億人

地域別派遣実績

6地域 **99**か国
(2024年3月31日現在)

欧州 718名

中東 3,729名

アフリカ
16,135名

アジア
16,048名

大洋州 4,830名

中南米
14,942名

【延べ人数】 **56,402**名

どんな活動をするの？

分野別派遣実績

9分野 **200**職種
(2024年3月31日現在)

人的資源
23,570名



保健・医療
7,113名



農林水産
6,863名






公共・公益事業
3,718名

社会福祉
1,681名

商業・観光
1,496名

エネルギー
102名



計画・行政
6,025名



鉱工業
4,668名



9分野 180種以上の職種

計画・行政
国・地域づくりに関わるシゴト
コミュニティ開発
コーヒー
行政・事業マネジメント
交通安全
防災・災害対策
金融
環境行政
統計
コンピュータ技術

商業・観光
マーケティングや観光に関わるシゴト
輸出振興
経営管理
品質管理・生産性向上
マーケティング
観光

社会福祉
福祉に関わるシゴト
ソーシャルワーカー
障害児・者支援
福祉用具
高齢者介護
労働安全衛生

エネルギー
エネルギーに関わるシゴト
ガス・石油・石炭
再生可能・省エネルギー
電力

公共・公益事業
生活・サービスに関わるシゴト
水質検査
上下水道
廃棄物処理
道路
鉄道
海運・航海
港湾
航空
空港
地震
気象
土木
河川・砂防
水資源開発
都市計画
通関
建築
建築設備
測量
映像
電気通信
通信インフラ
放送技術・設備
音響
照明
番組制作

農林水産
食べ物や自然に関わるシゴト
食用作物・稲作栽培
花き栽培
野菜栽培
果樹栽培
バイオテクノロジー
きのこ栽培
病虫害対策
土壌肥料
農業協同組合
農林統計
農業土木
農業機械
農産物加工
家畜飼育・飼料作物
養蜂
獣医・衛生
畜産・乳製品加工
林業・森林保全
林産加工
水産開発
養殖
水産物加工

鉱工業
ものづくりに関わるシゴト
鉱業
化学・応用化学
金属加工
溶接
非破壊検査
動力発電技術
工作機械
冷凍機器・空調
精密機器
電気・電子機器・設備
建設機械
船舶機関
自動車整備
繊維
竹工芸
木工
食品加工
陶磁器
皮革工芸
貴金属装身具製作
包装

人的資源
教育やスポーツなど人を育てるシゴト
青少年活動
環境教育
就職支援
フィジカルアクティビティ
陸上競技
体操競技
新体操
水泳
アーティスティックスイミング
水球
テニス
卓球
バドミントン
バレーボール
バスケットボール
ソフトボール
野球
ハンドボール
サッカー
レスリング
フェンシング
アーチェリー
柔道
空手道
合気道
剣道
相撲
ウエイトリフティング
自転車競技
ラグビー
少林寺拳法

PCインストラクター
視覚教育
音楽
美術
珠算
教育行政・学校運営
日本語教育
理科教育
数学教育
技術科教育
体育
小学校教育
幼児教育
機械工学
電子工学
衛生工学
経済学
社会学・文化人類学
ジャーナリズム
科学
考古学
地質学
生態調査
植物学
動物学
司書
学芸員
デザイン
文化財保護
写真
美容師
編集
家政・生活改善

手工芸
料理
服飾
文化

医療・医療
いのちに関わるシゴト
医師
歯科医師
歯科衛生士
歯科技工士
看護師
保健師
助産師
臨床検査技師
診療放射線技師
薬剤師
鍼灸マッサージ師
言語聴覚士
作業療法士
理学療法士
医療機器
病院運営管理
栄養士
公衆衛生
感染症・エイズ対策
食品衛生
学校保健
柔道整復師

*職種・要請は追加・変更・取り消しする場合がありますので最新情報はJICA海外協力隊ウェブサイトでご確認ください。

IT関連職種

主要要請内容

(1回の募集でそれぞれ60~70の案件がある)

コンピュータ技術

1,516人 (373人)

➤ 人材育成型:

大学、職業訓練校などで、情報処理技術の授業を行い、IT技術者を育成

➤ 情報システム開発型:

省庁などで、職員とともに公共サービスを提供する情報システムの開発

➤ IT環境整備型:

IT利活用支援、情報インフラ構築、セキュリティ対策など、IT環境の整備を行う。

PCインストラクター

537人 (219人)

➤ PC基礎操作指導

➤ PC基本ソフト操作指導と基本知識指導

➤ PCのメンテナンス

➤ 無料ソフトなどを活用した平易なホームページ作成指導

➤ 小規模のLANの保守

➤ デザイン系ソフト操作指導

➤ プログラミング指導

ITボランティア 要請数／応募者数／合格者数

募集期	募集区分	要請数	応募者数 (倍率)	合格者数 (充足率)
2023秋	コンピュータ技術	72	24 (0.33)	10 (13.8%)
	PCインストラクター	67	17 (0.25)	12 (17.9%)
2023春	コンピュータ技術	80	22 (0.27)	9 (11.2%)
	PCインストラクター	53	16 (0.30)	10 (18.8%)
2022秋	コンピュータ技術	58	21 (0.36)	6 (10.3%)
	PCインストラクター	38	24 (0.63)	14 (36.8%)
2022春	コンピュータ技術	31	23 (0.74)	10 (32.3%)
	PCインストラクター	34	37 (1.08)	21 (61.7%)
2021春	コンピュータ技術	17	21 (1.23)	5 (29.4%)
	PCインストラクター	10	21 (2.10)	5 (50.0%)

2. JICAによるサポート

JICAの支援体制

語学力

帰国後

お金

スキル
や経験

健康と
安全



お金はかかるの？



経済面のサポート

お金

往復渡航費

赴任時・帰任時の渡航費はJICAが支給

現地での住居

受入国政府や配属機関、あるいはJICAが提供

現地での生活費

**現地の一般の方と同等レベルの生活ができる額を
毎月支給**

国内手当

**日本国内で支出が必要な経費、帰国後の社会復帰に
必要な経費などに役立てるための手当を支給**

毎月：55,000円

活動完了時一括：20,000円×派遣期間（月数）

語学力が心配です



語学力

語学力

応募時に最低限必要な語学力は

中学校卒業程度

(英検 3 級、TOEIC330点 等)

※応募する要請によってそれ以上の語学力が求められる場合があります

派遣前訓練

語学力

- **期間** 73日間程度
- **時期** 派遣の約2週間～2か月前までに修了
- **場所** JICA二本松青年海外協力隊訓練所（福島県）または
JICA駒ヶ根青年海外協力隊訓練所（長野県）
- **形態** 合宿形式
- **内容** 語学、異文化適応、その他

派遣前訓練

7:10	朝食	
8:10	朝の集い 点呼・国旗掲揚・事務連絡等を行います。	
8:45	語学訓練 派遣国で活動するために必要となる語学の基礎的知識と実践力を身に付けます。 ベテラン講師による少人数クラス制で学びます。	
11:40	昼食 日替わり料理を食べられます (世界各国のランチの日もあります)。	
13:00	語学訓練	
15:00	各種講座 多種多様な講座を受講することで、派遣国で活動する際に必要な手法等を学びます(例: 目標管理概論、調査手法、救急法、海外における安全対策、任国研究、地域実践)。	
18:00	夕食	
19:00	語学自習・自主講座等 自主講座では、訓練生が講座の実施者もしくは参加者になることで、講座の組み立て方等を学びます。	
23:00	消灯	

病気になったらどうしよう



健康面のサポート

派遣前後



派遣前の
予防接種

派遣前・帰国後の
健康診断

専門
スタッフ



日本の**看護師**を
現地事務所に配置

現地の医師と
顧問医契約を締結 ※

緊急対応



重篤な傷病が発生した場合は
医療体制が整った国・都市に**緊急移送**

費用：ケガや病気には労災保険と国際協力共済会給付事業でカバー

現地での安全対策は？



安全面のサポート

行動制限



治安状況を踏まえた
移動制限

治安悪化時の
国内外退避

備品支援



防犯のための
住居の補強支援

緊急時の連絡手段
の確保

情報提供



現地の治安状況・交通状況など
安全管理に資する情報の提供

帰国後の進路が心配



帰国後

進路面のサポート

進路を
探る



研修・セミナー・
勉強会の開催

専門のアドバイザーが
相談に対応

働く



求人情報の提供や
お仕事の紹介

教員・自治体の特別採用枠

JOCV枠UNV制度

起業



JICA海外協力隊起業支
援プロジェクトBLUE

訓練経費の80%
上限20万円

200万円
返済義務なし

学ぶ

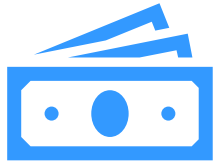


進路開拓に役立つ
訓練受講の費用の補助

大学院進学に対する
奨学金給付

サポートの種類

まとめると



経済面… 隊員自身の費用負担がないようサポート



安全面… 事故や犯罪などの被害にあわないようサポート



健康面… 心身ともに健康を保てるようサポート



技術面… 活動に必要な知識・技術の獲得をサポート



進路面… 帰国後の進路開拓や社会還元活動をサポート

自分にできることはある？

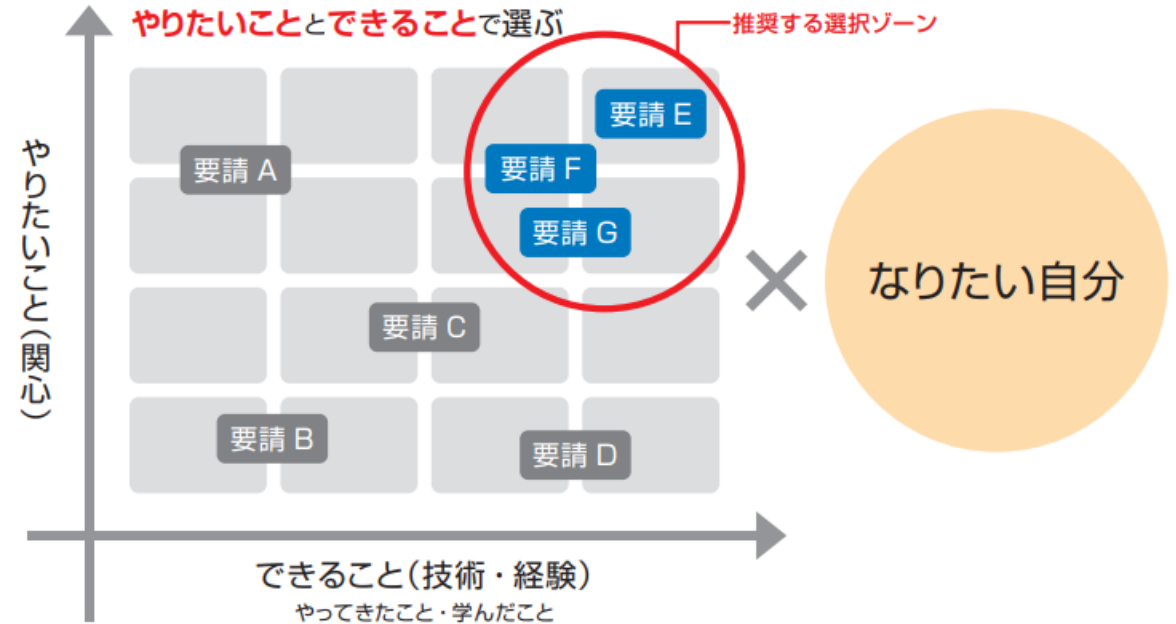


職種選び方

■ 自分の整理



■ やりたいこととできることのマッチング



お知らせ

JICA海外協力隊ブース@調布祭

～ IT職種で活動した方の体験談と事業概要説明が聞けます ～

11月24日(日)
10:30～15:30

電通大 図書館
Ambient Intelligence
Agora

【1回目】 11:30-11:40 JICA海外協力隊事業説明
11:40-12:10 協力隊経験者の体験談

【2回目】 13:30-13:40 JICA海外協力隊事業説明
13:40-14:10 協力隊経験者の体験談

※その他の時間は、個別に自由にお話できます

いつか世界を変える力になる

JICA
海外協力隊